

関係各位

「光る君へ 越前大河ドラマ館」

～越前での生活が、後の源氏物語に影響を与え、式部の才能を開花させた町～

ご提案資料

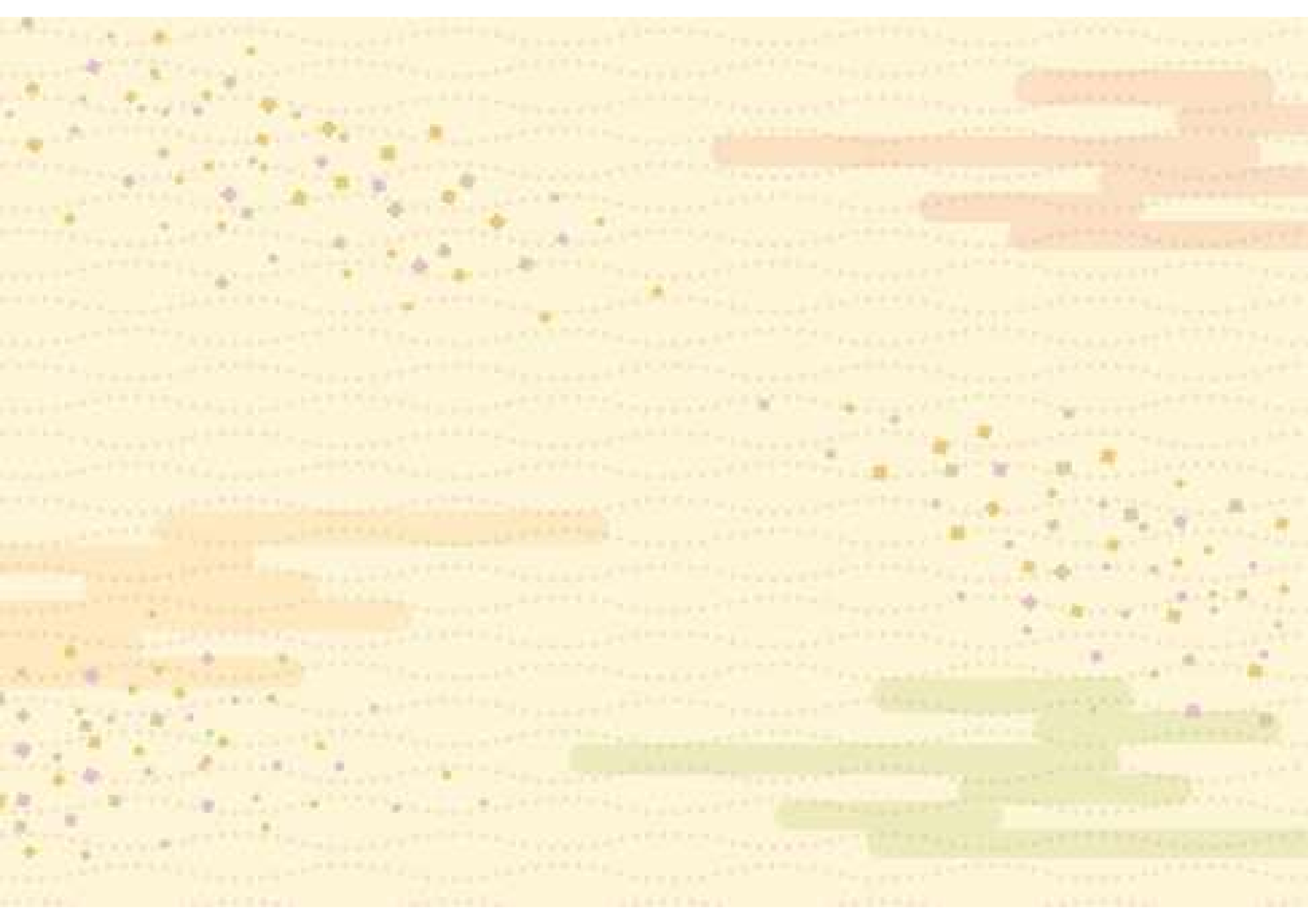
ドラマ館開館期間：2024年2月23日（金/祝）～2024年12月30日（月）

2023年10月吉日

開催場所：福井県越前市高瀬2丁目7-81
武生中央公園内 屋内催事場（しきぶきぶんミュージアム内）

運営本部：TEL0778-22-5377 Fax0778-22-5370

（連絡先）✉ echizen@doramakan.jp



目次

1. 紫式部の紹介、源氏物語の紹介 P 4
2. 紫式部と越前市との関係性、紫式部ゆかりの場所 P 5
3. 越前市長の挨拶文 P 6
4. 越前市及びドラマ館へのアクセス P 7
5. 入場料金のご案内 P 1 0
6. ドラマ館のご案内 P 1 1
7. 越前市観光案内、ボランティアガイドの紹介 P 1 2
8. 団体食事場所等のご案内 P 1 8
9. その他資料及び助成金のご案内 P 2 2

紫式部の紹介

生没年不詳。「源氏物語」「紫式部日記」の作者。生年は970年代、没年は1010年代と推測される。父は藤原為時、母は藤原為信の女。本名は未詳。女房名は藤式部(とうのしきぶ)。「源氏物語」の女主人公紫の上にちなんで、死後紫式部の呼称が生じたらしい。兄弟に惟規(のぶのり)がいる。藤原宣孝の妻となり、大弐三位(だいにのさんみ)を生む。「後拾遺集」以下の勅撰集に60首ほど入集。中古三十六歌仙の1人。学者で漢詩人の父に育てられ漢詩文の素養を身につけた。夫の死後に書きはじめた物語が高い評価をうけて、藤原道長の女上東門院(一条天皇の中宮)彰子に出仕。宮仕えの苦勞が「紫式部日記」に記される。「源氏物語」の執筆はその後も継続され、虚構ではあるがすぐれた同時代史でもある。

出典 山川出版社「山川日本史小辞典 改訂新版」山川 日本史小辞典 改訂新版について

源氏物語の紹介

平安時代中期の11世紀初め、紫式部によって創作された長編の虚構物語。正しい呼称は「源氏の物語」で、「光源氏(ひかるげんじ)の物語」「紫の物語」「紫のゆかり」などの呼び方もある。後世は「源氏」「源語」「紫文」「紫史」などの略称も用いられた。主人公光源氏の一生とその一族たちのさまざまの人生を70年余にわたって構成し、王朝文化の最盛期の宮廷貴族の生活の内実を優艶(ゆうえん)に、かつ克明に描き尽くしている。これ以前の物語作品とはまったく異質の卓越した文学的達成は、まさに文学史上の奇跡ともいふべき観がある。以後の物語文学史に限らず、日本文化史の展開に規範的意義をもち続けた古典として仰がれるが、日本人にとっての遺産であるのみならず、世界的にも最高の文学としての評価をかちえている。

『源氏物語』は、その主題・構成に即して、第1部(1「桐壺」から33「藤裏葉」まで)、第2部(34「若菜上」から41「幻」まで)、第3部(42「匂宮」から54「夢浮橋」まで)の三部作としてとらえることができる。

引用資料：日本大百科全書(ニッポニカ)

紫式部と越前市との関係性 ～紫式部が暮らしたまち福井県越前市～

紫式部は、世界最古の長編小説といわれる「源氏物語」の作者として有名ですが、生涯でただ一度だけ京都を離れて暮らしたことがあります。それが当時の越前国府であった武生(たけふ／現在の越前市)です。越前国司となった父、藤原為時(ふじわらためとき)について武生で暮らしました。源氏物語を書くにあたって、武生での経験は貴重であったようで、源氏物語にも武生の地名が登場します。

現在、越前市内には紫式部を記念して造られた紫式部公園があり、紫式部像が建てられています。公園に隣接して、紫式部と越前市のかかわりを紹介する「紫式部と国府資料館」(愛称・紫ゆかりの館)が2021年4月にオープンしました。

引用文献：福井県公式観光サイト ふくいドットコム

紫式部ゆかりの場所

紫式部公園／全国で唯一の寝殿造庭園



引用文献：福井県公式観光サイト ふくいドットコム

紫式部と国府資料館 (紫ゆかりの館)



引用文献：福井県公式観光サイト ふくいドットコム

旅行会社 各位

「光る君へ 越前 大河ドラマ館」の事業成功に向けたご協力をお願い



ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より当市の観光行政の推進に、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当市は大化の改新のころ越の国の「国府」が置かれ、北陸地方の政治・経済・文化の中心地として栄えてきました。そして、平安時代に「源氏物語」の作者である紫式部が、越前国司として赴任した父とともに、生涯でただ一度、京都を離れ、多感な時期を過ごした地でもあります。

来年1月から放映される大河ドラマ「光る君へ」では、紫式部が主人公として描かれ、越前市もその舞台となります。さらに、3月16日には北陸新幹線が福井県内で開業し、期待が膨らむ中、当市を含む福井県全体が注目を集め、多くの方に訪れていただく絶好の機会が訪れます。

この機を逃さず、福井県や越前市、県観光連盟などが連携し、「紫式部プロジェクト推進協議会」を設立しました。さらに、北陸初となる「光る君へ 越前 大河ドラマ館」の整備も進行中です。ここでは、紫式部を通じて越前の歴史や文化を体感できるだけでなく、紫式部が愛した越前和紙などの伝統工芸品や、紫式部ゆかりの施設もご覧いただけます。

「紫式部が暮らした越前市」として、ゆかりのある宇治市や津市と連携し、紫式部ブームを巻き起こすべく尽力してまいります。皆様のご協力とお力添えがあれば、この素晴らしい機会をより一層活かし、福井県を訪れる方々に充実した体験と素晴らしい思い出を提供できるものと考えています。何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年10月吉日

紫式部プロジェクト推進協議会 会長 越前市長

山田賢一

越前市へのアクセス



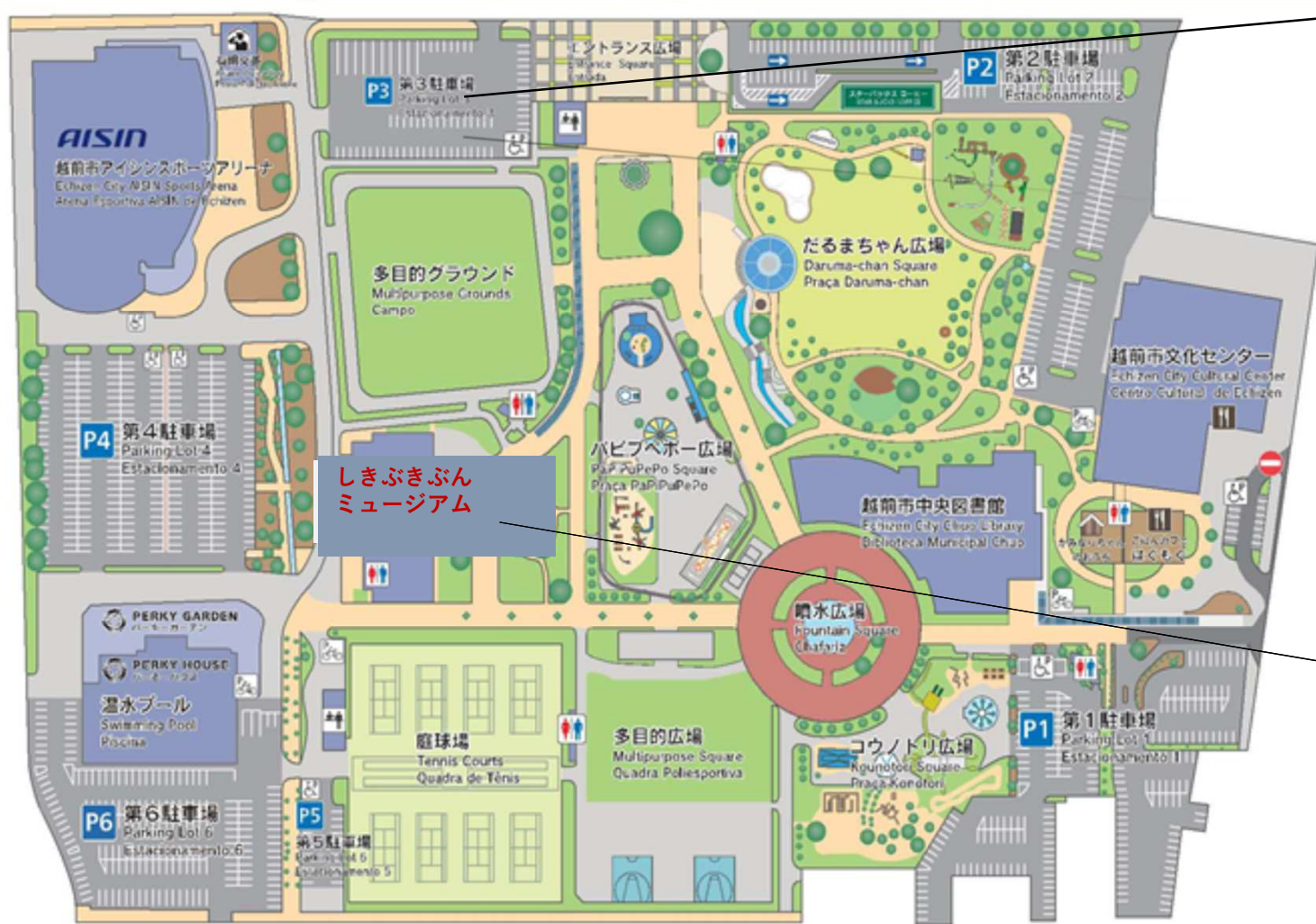
- 福井県嶺北地方中南部に位置。
- 人口は約8.3万人で、福井市・坂井市に次ぐ、福井県内で第三の都市。
- 越の国の国府が置かれ、北陸地方の政治、経済、文化の中心として栄えた。
- 伝統産業として、「越前和紙」「越前打刃物」や、「越前筆筒」などの「越前指物」がある。



ドラマ館へのアクセス

ドラマ館の場所は、武生中央公園屋内催事場（しきぶきぶんミュージアム内）になります。
JR武生駅からは、車で6分（約2km）、武生インターからは、12分（約5.4km）になります。

※バスが駐車場に留置きが出来ない場合、回送になる場合もあります。



団体バス駐車場
第3駐車場（10台駐車可能）
※事前予約制（有料）

トイレ予約制（有料）

公園内のトイレは、数が少ないため、到着する直前の見学先・食事場所でトイレを済ませてからお越し下さい。

ドラマ館会場
武生中央公園屋内催事場
（しきぶきぶんミュージアム内）



北陸新幹線 金沢～敦賀間、令和6年3月16日に開業決定！

北陸新幹線の延伸区間（金沢～敦賀）の開業日が令和6年3月16日に決定し、東京から福井県まで乗り換えなしでアクセスできるようになる。

今回の開業により東京駅～福井駅の所要時間は、現状の東海道新幹線を利用した場合（3時間24分ほど）に比べ約30分短縮され、最短2時間51分となる見込み（東京駅～敦賀駅は最短3時間8分）

越前たけふ駅

越前たけふ駅は、県内唯一の新駅で、現在のJR武生駅から3キロ東に位置しています。越前たけふ駅には、隣接の道の駅の駐車場と合わせ、約600台の無料駐車場が整備されています。また、国道8号、武生ICとの距離は約600mで、渋滞なしで国道、高速道路へ移動できます。さらに、道の駅、観光案内所、レンタカー（新幹線開業営業開始）など、レール&カーでの観光周遊にもっとも便利な駅となります。是非、越前たけふ駅からの様々なビジネスや観光バス発着の拠点としてご利用ください！

引用文献：越前市役所HP 2023年10月5日
PAGE-ID:11068



引用文献：越前市役所HP
2023年10月5日 PAGE-ID:11068



引用文献：福井県公式観光サイト ふくいドットコム

新幹線の開業に先立ち、隣には道の駅「越前たけふ」（写真右）が令和5年3月にオープン。地元の海鮮が味わえるレストランやBBQ施設も備わる。

入場料金のご案内

【館名称】 「光る君へ 越前 大河ドラマ館」

【会 期】 令和6年2月23日（金/祝）～令和6年12月30日（月）

【会 場】 武生中央公園内 屋内催事場（まさかりどんの館内）

【入場券】 下記の通り

※料金等は必ず運営本部に確認をお願いします。

区分		料金	説明
大人（個人）	当日券	600円	高校生以上に適用
	前売券	500円	
大人（団体）		500円	団体入場（有料入場者20名以上に適用）
小人（個人）	当日券	200円	小学生・中学生に適用（未就学児は無料） ※小人の前売券の設定は無し
小人（団体）		150円	団体入場（有料入場者20名以上に適用）

※障がい者の方は各区分の当日券の半額になります（当日、手帳の提示をお願いします）
障がい者の引率者は1名まで無料（2人目からは各区分の当日券の料金となります）

ドラマ館のご案内



ここにかく
日野の杉むら埋む雪
小塩の松に 今日やまがへる

紫式部が暮らした
越前市

光る君へ 越前 大河ドラマ館

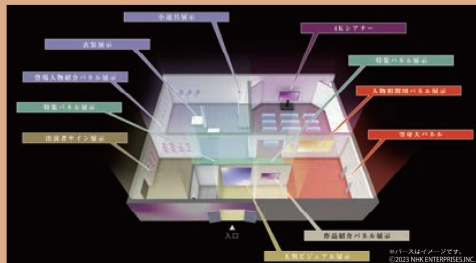
令和6年2月23日[金・祝]
→ 令和6年12月30日[月]

開館時間 9時～17時(最終入場16時30分)
※開館日時は主催者等の都合により変更となる可能性があります

会場 武生中央公園屋内催事場
「しきぶきぶんミュージアム」内
福井県越前市高瀬2丁目27-7-1

入場料 大人 600円 小人 200円
※小人は小学生・中学生に適用 ※未就学児無料
※障がい者手帳持参者は各区分の半額、可成者は1名まで無料

主催 紫式部プロジェクト推進協議会



▲「光る君へ 越前 大河ドラマ館」イメージパース

同時開催 越前歴史展示 / お土産処 光る越前SHOP



紫式部プロジェクト推進協議会

ホームページはこちら▶



【問合せ】光る君へ 越前 大河ドラマ館運営本部
☎ 0778-22-5377

紫式部が暮らした越前市

紫式部が生涯でただ一度都を離れて暮らした地、福井県越前市。
雄大な自然や文化に触れた越前市での暮らしは、才能ある紫式部の感性をさらに豊かにしました。
このことがのちに源氏物語を執筆する原動力になったと言われています。



紫式部公園

平安時代の貴族の住居(寝殿造)を模した3000坪という広大な敷地に霊峰・日野山をはじめ武生盆地を囲む山々を借景に池や築山を配置。池のほとりには釣殿もあり、全国で唯一の寝殿造庭園です。
入園料 無料



紫式部像

文化勲章受章者の圓鋳勝三氏が制作した紫式部公園内にある紫式部像。式部像の視線の先には、歌にも詠まれた日野山があります。

紫ゆかりの館

紫式部がいた越前国府(越前市に所在)の様子を知り、理解を深めることができる資料館です。

福井県越前市東千福町21-12
☎ 0778-43-5013
入館料 無料
開館時間 9時～17時
休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
駐車場 乗用車30台・大型バス3台



越前市武生公会堂記念館

幕末に府中の藩校「立教館」があった場所に、昭和4年(1929年)建設された「武生町公会堂」を活用した博物館です。
現在は、特別展や館藏品展、体験講座や講演会による越前市の歴史文化の紹介や郷土資料の収集保存活動を行っています。

福井県越前市逢菜町8-8
☎ 0778-21-3900
入館料 常設展は無料、特別展・企画展は有料
開館時間 10時～18時(入館は17時30分まで)
休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
駐車場 乗用車31台



紫ゆかりの館 紫式部公園

2021年に新資料館がオープン
全国唯一の寝殿造の庭園

「紫ゆかりの館」は、日本を代表する女流作家 紫式部が越前国の国司に任命された父とともに、この越前たけふの地で青春時代を過ごしたことから2021年4月23日にオープンした資料館です。

当資料館では、日本を代表する女流作家 紫式部が越前たけふの地で過ごした時間と、式部が生きた国府時代より脈々と生き続けている越前・丹南地域の伝統的工芸品について、展示や物販を通して紹介しています。

※越前市東千福町21-12



バス駐車場あり

オカモトジンジャ 岡太神社 大瀧神社

「日本一複雑な屋根」を持ち、紙祖神
「川上御前」を祀る

今から千五百年ほど前、継体天皇が越前におられ男大迹（おおどのおおきみ）皇子と呼ばれていたころ、この村里の岡太川の上流に美しい姫が現れて「この地は清らかな水に恵まれているからこの水で紙漉きをして生計を立てよ」と、ねんごろに紙漉きの技を里人に教えたといひます。この教えを受けた人々は、この姫を「川上御前」とあがめ奉り岡太神社を建ててお祀りしました。社殿は天保14年(1843)に建立されたもので、国の重要文化財の指定を受けた建築です。

※越前市大滝町13-1



バス駐車場あり

越前和紙の里

和紙を学んで、知って、体験できる複合施設
見て、触れて、学んで・・・。
様々な角度から和紙の魅力にふれることができる
施設です。

越前和紙の里は、『紙の文化博物館』『卯立の工芸館』『パピルス館』を結ぶ、この全長約230mの通りを中心としたエリアです。

この三つの施設はそれぞれ和紙をテーマにしており、和紙に関する知識を学んだり、越前和紙ができ上がる工程や職人技を見学したり、紙漉きを実際に体験できたりと、様々な角度から和紙の魅力にふれることができます。

※越前市新在家町8-44



バス駐車場あり

タケフナイフビレッジ

作業風景を見学できる越前打刃物の共同工房
2020年に新施設完成
あなただけの特別な包丁を。

およそ700年の昔、京都の刀匠「千代鶴国安」が名剣を鍛える水を求めての旅の途中、この地に留まり刀剣をつくる傍ら、近隣の農民のために、鎌も製作するようになったのが起源とされています。それ以来、武生（現・越前市）は農業用刃物の一大産地となり、それらは北陸独特の「行商」という形で販売されていきました。

※越前市余川町22-91



バス駐車場あり

万葉の里味真野苑

万葉の恋歌の地でハートめぐりのお散歩を♡
恋に揺れる男女の心... いにしへの切なさがわかりすぎる！

今から1200年余り前、貴族を中心に壮大で華麗な天平文化が栄えました。越前市・味真野は、平城の都からこの地に流された中臣宅守（なかとみのやかもり）と都で宅守を思う狭野弟上娘子（さののおとがみのおとめ）の悲しい恋の歌の舞台として知られています。二人の間で詠まれた情熱的な歌は万葉集に63首も残されています。味真野苑内には二人の「相聞歌碑」が建立されており、敷地面積4.7haの苑内では四季折々に咲く花とともに万葉集に歌われた植物を鑑賞することができます。

※越前市余川町55-1



バス駐車場あり

御誕生寺

猫と人のご縁をつなぐ命にやさしい縁結びの寺。
大仏様も猫が好き？珍しい猫仏像にびっくり！
曹洞宗の由緒ある禅寺でじっくり坐禅体験を。

越前市庄田町の静かな山間にある曹洞宗の寺院「御誕生寺」は、修行僧たちが日々修行に励む修行専門の寺。通称「猫寺」と呼ばれ、行き場のない猫たちを引き取り、現在約30匹の猫が暮らす。毎週日曜に無料で開催される「日曜座禅会」では「心が生まれ変わるきっかけになれば」と茶話会での副住職や修行僧との交流や、ヨガ、手話教室などさまざまなコミュニケーションが行われている。※越前市庄田町32



バス駐車場あり

各地 = 車 = 岡太神社・大瀧神社 = 車 = 越前和紙の里 = 車 = 越前そばの里 = 車 =
10:00/10:40 10:50/11:50 12:00/13:00

タケフナイフビレッジ = 車 = 大河ドラマ館 = 車 = 紫ゆかりの館 = 車 = 各地
13:10/13:50 14:10/14:50 15:00/15:40



注意：人数により一度に見学が出来ない施設もありますので、必ずご確認ください
バスの駐車場がない施設もありますので、事前にご確認をお願いします

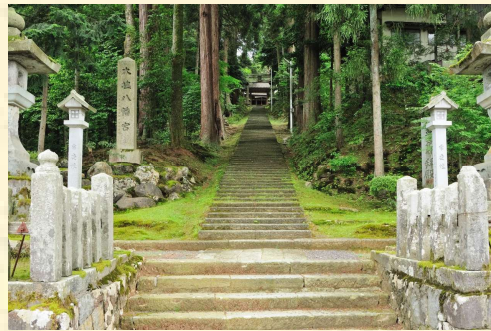
各地 = 車 = 越前そばの里 = 車 = 万葉の里味真野苑 = 車 = タケフナイフビレッジ = 車 =
11:30/12:30 12:45/13:45 13:50/14:40

大河ドラマ館 = 車 = 紫ゆかりの館 = 車 = 宿泊地（例：しきぶ温泉湯楽里）
15:00/16:00 16:10/16:40

※ドラマ館を翌日に変更することも可能です（予約状況次第）

宿泊地 = 車 = 大塩八幡宮 = 車 = ちひろの生まれた家記念館 = 車 = 道の駅越前たけふ
10:00/10:50 11:10/11:50 12:10/13:10

= 車 = 越前和紙の里 = 車 = 各地
13:30/14:30



注意：人数により一度に見学が出来ない施設もありますので、必ずご確認下さい
バスの駐車場がない施設もありますので、事前にご確認をお願いします

団体食事場所のご案内



越前そばの里
武生製麺

施設名	住所	連絡先	ドラマ館までの所要時間
越前そばの里	福井県越前市真柄町7-37	電話：0778-21-0272 FAX：0778-22-5811	10分 (5.1km) ※武生IC～2分 ※武生駅～15分 (タクシー利用)

内容	越前そばのテーマパーク！創業九十余年の老舗そば店です。「越前そば」発祥の地。
団体受入可能人数	最大100名様可能
営業時間	9:30～16:00
定休日	年中無休(1月1日～3日は休み)
駐車場	バス16台・乗用車150台
団体向けメニュー	詳しくはHPをご覧ください。料金は1,430円～
予約締切日	事前に予約をお願いします
販売手数料	有り (10%程度) ※団体専用メニュー及びそば打ち体験のみ対象
キャンセル規定	当日100% (前日までは無料)
特記事項	アレルギー対応可能

団体メニュー一例



- ・【名物】越前おろしそば
- ・【名物】焼き鯖寿司2貫
- ・天ぷら盛合せ
- ・そば豆腐
- ・小鉢



- ・【名物】越前おろしそば
- ・【名物】ソースカツ丼
- ・お刺身 ・サラダ
- ・そば豆腐・お味噌汁
- ・お漬物
- ・【名物】水ようかん



- ・【名物】越前おろしそば
- ・天ぷら盛り合わせ
- ・お刺身
- ・炊き込みご飯・小鉢 ・お漬物
- ・【名物】水ようかん

団体食事場所のご案内（そば打ち体験昼食）



越前そばの里
武生製麺

越前そば発祥の地 自分で打って食べる贅沢

体験夢工房 / 最大100名様収容可能

そば打ち体験（昼食またはお持ち帰り）

1打：2食分

料金：2200円税込

所要：体験は約60分（お召上がりの場合は追加約40分）

時間帯：①10：00～ ②12：30～ ③15：00～

※追加メニュー（天ぷら・焼き鯖寿司など）を加えて、定食形式での利用も可能。
※行程のご都合などで、やむを得ず上記時間帯が難しい場合はお気軽にご相談ください。



体験の会場（イメージ）



自分で作ったおろしそば（イメージ）

団体食事場所のご案内 ～越前市内～

※詳しくは各施設へお問合せをお願いします（バス駐車場・座席数・昼食料金・昼食メニューなど）

施設名（越前市内）	連絡先	収容数（目安）	昼食料金（目安）
越前そばの里	0778-21-0272	100名	1,430円～
和風レストラン瀧雅	0778-22-3700	150名	1,815円～
しきぶ温泉 湯楽里	0778-25-7800	40名	1,680円～
海鮮レストラン越前丸松	0778-43-5661	50名	2,200円～
料理旅館 寿屋	0778-42-0022	60名	1,980円～
ろくべえ	0778-23-7668	20名	1,650円～
おりょうり京町 萬谷	0778-21-0080	28名	6,600円～
料亭うおとめ	0778-22-0151	120名	6,050円～



団体の昼食でお困りの場合は、下記までお問合せ下さい

（年末年始は休み）

- ・ 福井周遊サポートデスク（越前そばの里 直売部営業2課）
 ☎0778-21-0272 担当：出村・井筒まで
 （問合せ時間 9:00～16:00）
- ・ （一社）越前市観光協会 ☎0778-23-8900
 （問合せ時間 9:00～18:00）

団体食事場所のご案内 ～越前市以外～

※詳しくは各施設へお問合せをお願いします（バス駐車場・座席数・昼食料金・昼食メニューなど）

施設名（所在地）	連絡先	ドラマ館までの時間	備考
釜蔵（鯖江市）	0778-52-2846	車で20分	釜めし専門店
花はす温泉そまやま（南越前町）	0778-47-3368	車で25分	日帰り入浴有
日本海さかな街（敦賀市）	0770-24-3800	車で45分	自由昼食 （ミールクーポン対応）
塩荘すずかげ亭（敦賀市）	0770-22-2593	車で45分	食事・積込弁当可
ほっきょ荘（永平寺町）	0776-63-3311	車で45分	永平寺近い
千鳥苑（美浜町）	0770-31-1011	車で55分	大型団体の昼食可



団体の昼食でお困りの場合は、下記までお問合せ下さい

（年末年始は休み）

- ・ 福井周遊サポートデスク（越前そばの里 直売部営業2課）

☎0778-21-0272 担当：出村・井筒まで
（問合せ時間 9:00～16:00）

- ・ （公社）福井県観光連盟 ☎0776-23-3677

（問合せ時間 9:00～17:00）

その他資料

越前市グルメマップ

全11ページ

越前おろしそば

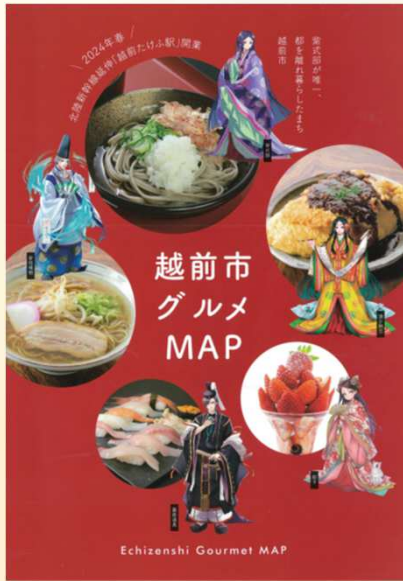
中華そば

ボルガライス

和食・居酒屋・洋食

カフェ・スイーツ

和菓子・パン



その他資料

白山の麓、福井県のやまぎわをつなぐエリアには、栄華を極めた要塞都市、全国一とうたわれる匠の技巧、「日本の宝」など8つの日本一が存在します。そんな8つの日本一をつなぐ「やまぎわ天下一街道」を巡るコース案内

御城印

助成金のご案内

※各助成金は、予算の上限に達した時点で終了になります。

1. **越前市観光協会**では、貸切バスを利用し、越前市内の観光地等を訪れるバスツアーへの助成を行っています。対象となるのは、令和5年4月8日から令和6年3月21日までの間に催行されるツアーです。（出発日を基準とします）

※下記に一例を記載します（詳細は越前市観光協会HPにて必ず確認をお願いします）

参加者一人当たりの助成金額

<https://www.echizen-tourism.jp/news/detail/46>

- ① 越前市内で体験（500円（税込）以上／人） 200円／人
- ② 越前市内で食事（1,500円（税込）以上／人） 300円／人
- ③ 越前市内で宿泊 1,000円／人
- ④ 道の駅「越前たけふ」に滞在（20分以上／ツアー） 100円／人
- ⑤ 紫ゆかりの館（国府資料館）に滞在（20分以上／ツアー） 100円／人
- ⑥ 「光る君へ 越前大河ドラマ館」に入館（小人は対象外） 100円／人

※⑤⑥に入館する場合は、必ず事前に予約をお願いします

2. **福井県観光連盟**では、福井県外在住者が貸切バスを利用し福井県内を観光する旅行商品への助成を行っています。対象となるのは、令和5年4月1日から令和6年3月15日までの間に催行されるバス旅行の企画です（出発日を基準とします）

※助成条件である「観光地」と「食事施設または土産物施設」の訪問について、同一施設を両方に計上することはできません

※県内各市町の助成制度との併用はできません。

問い合わせ先：（一社）越前市観光協会
〒915-0071 越前市府中1-2-3

[TEL0778-23-8900](tel:0778-23-8900)

(公社)福井県観光連盟 誘客推進事業部
〒910-0004 福井市宝永2-4-10-2F

[TEL:0776-23-3677](tel:0776-23-3677) info@fukuioyado.com

MEMO

